

自分の道は 自分で切りひらいていこう

平成16年町成人式

1月3日、町改善センターで成人式が開催され、本町出身者など67名が晴れて成人の仲間入りをしました。

成人式は、新成人を祝い、成人としての誇りと自覚を持ち、自ら教養を高め地域社会に貢献しようとする意欲付けと励ましの機会とすることを目的におこなわれているものです。今年は昭和58年4月2日から昭和59年4月1日までに生まれた方が対象で、当日は初々しいスーツや晴れ着に身を固めた58名が出席しました。

式では山口町長が「本日、大人の仲間入りという人生の節目にあたり、新しい希望と決意で力強い一歩を踏み出されることを心強く思います。皆さんが今後ますます国際的な感覚や独創的な知性を磨くとともに豊かな情操やたくましい体力を培い、進むべき道を見つけ成長されることを強く望みます。」と式辞を述べました。

その後、出席者全員でローソクの火を分け合う「ともし火のつどい」がおこなわれ、助役の持つ親火から次々と新成人の持つローソクへと分火。場内がローソクの火でいっぱいになると神秘的な雰囲気に参加者も感激した様子でした。

最後に新成人を代表して笹田良二さんが「これから、私たち新成人はそれぞれの社会に向かって進んでいくこととなりますが、激動の21世紀社会を力強く突き進み、明るい未来の先駆者になるために、グローバル(世界的)な視野で社会を見つめ大人としての自覚と誇りと責任を持ち精一杯がんばっていきたいと思います。」と力強い抱負を述べると会場からは激励の拍手が送られていました。



▲選挙管理委員会から記念品を受け取る新成人代表
20歳になったら日本の未来を決める選挙権もあります。



▲「新成人の決意」を発表する笹田良二さん



▲「ともし火のつどい」でローソクを持つ出席者たち



▲久しぶりの友達との再会に会場も和やかな雰囲気に包まれました